

## その質問にお答えします～アンケートから②～

今回は、保護者職場施設見学後のアンケート(質問)にお答えする第2弾です。

Q. 本人が何型就労に向いているかをどう判断すれば良いのかを知りたいです。もちろん本人の気持ち次第ですが、客観的に最低限出来なければいけないこと等を知りたいです。

それぞれの進路に進み、その生活を継続できている卒業生が、在学中にできていたこと等を挙げてみます。会社やA型を目指すなら、まずは通学自立です。即取り組みしましょう。高等部の現場実習の際には、自力通学できているのかも実習先選びに関わります。自立度を高め(できることを増やし)、グループホームや施設への入居準備も進めていくと、実習先や進路選択の幅は広がっていくのです。



### 会社、A型、障がい者職業訓練校に進む卒業生の生活は…

#### 会社で働く

- ・食事(3食)、生活リズムは安定している。夜更かしせず、自分で管理できる。
- ・自分のことは自分でやる(起床、掃除、洗濯、簡単な調理、身だしなみ等)。
- ・一人で通学は当たり前。バス、電車を使って一人で外出、買い物できる。
- ・メールや電話、スマホを使いこなし、困ったときの連絡や対応等ができる。
- ・大人には敬語、元気な挨拶、素直で前向き。周りの大人と仲良く過ごせる。
- ・毎日6～8時間働く体力がある(基本立ち仕事)。問題なく実習できていること。
- ・就職後は、ナカポツ(津軽障害者就業・生活支援センター)の支援を受けられる。グループホーム利用なら職員の支援も受けられる。

#### A型で働く

- ・求められることは会社と同じだが、福祉サービス(支援)もある程度受けられる。
- ・最寄り駅まで送迎してくれる施設もあるが、基本は自力通勤できること。
- ・自分のことは自分でできる(会社と同じ)。毎日4～5時間働く体力が必要。
- ・会社やA型に進む生徒は、中・高等部で放課後等デイサービスを利用していない。
- ・ハローワークと役所の福祉課で手続きが必要。

#### 訓練校に入校

- ・青森県障がい者職業訓練校(作業実務科)は弘前市樹木にあり、期間は1年間。
- ・(親ではなく)本人に卒業後に就職したい、稼ぎたい等の意志(希望)がある。
- ・ハローワークで求職登録と受験手続きする。
- ・一人でバスや電車を乗り継いで通えること(送迎、付き添い通学不可)。
- ・メールや電話、スマホを、ある程度、使いこなしている。
- ・敬語が使える。元気な挨拶。素直で前向き。周りの大人と仲良く過ごせる。
- ・毎日4時間以上働く体力がある(作業学習や現場実習を無理なくできている)。
- ・1年後の会社やA型に就職することを目指して訓練や実習に取り組む。

朝は5時～6時には起床し、朝食→歯磨き→身支度を調べて、家やグループホームを出発し、バスや電車を乗り継いで通勤する人がほとんどです。乗り間違えたときには、自分で運転手さんに尋ねたり、母とラインしたりして、折り返しのバスで実習先に行くことができます。

給料は自分で管理し、休日には自分で必要な物や食料品を買ったり、友だちとカラオケに行ったりしています。スタバでくつろぐ卒業生カップルに会ったこともありますよ♪ 年3回、日曜日にスポカルイン黒石等で行う卒業生対象の「がむしヶ丘青年学級」に、一人で参加する人もたくさんいます。



## B型や生活介護に進む卒業生の生活は…

### B型利用

- ・学校生活(作業学習、レク)を継続するイメージです。職員数は学校より少ない。
- ・常時個別の対応はできない。少しの支援があれば、概ね一人で活動できること。
- ・3~4時間くらい働く体力(座り仕事が多いが、施設により異なる)。
- ＊他の利用者と一緒に作業できる愛護手帳A所持の卒業生も利用している。

### 生活介護利用

- ・学校生活を継続するイメージです。落ち着いて過ごすことに重点が置かれる。
- ・食事や排泄、入浴など、生活面で個別対応が必要な生徒が対象となる。
- ・施設によっては、軽作業を設定することもある(働いた人には工賃あり)。
- ・送迎に関してはB型と同様。自宅送迎、ポイント送迎の施設がある。

＊他に就労移行支援、自立訓練等がある。A型・B型は訓練給付、生活介護は介護給付。

### ポイント送迎する施設を利用した生活は…

ポイント送迎では、駅やスーパー・コンビニ等の駐車場に集合し、そこから施設までの送迎を行うこととなります。従って、自宅から集合場所までの送迎を家族が行うか、自分一人で往復する必要があります。例えば、朝9時集合なら、10~15分くらい前には到着して送迎車を待ち、帰りの到着予定が15時半なら、その10~15分くらい前には到着して送迎車を待つ必要があります。毎日、朝と午後の時間が拘束されることとなります。「送れないから休ませます」が続かないよう、パート勤務の時間を変更する、元気なうちは祖父母に頼る等、対応策を考えておく必要があります。集合場所まで一人で往復できる生徒の場合は、自宅の鍵の管理や開け閉めの仕方(入ったら閉める)、来客時の対応(でる、でない)等、安全に留守番できるように、今から練習を始めましょう。留守番も自立の第一歩です。



### 自宅送迎する施設を利用した生活は…

自宅送迎する施設の場合、利用者の自宅を順番に回っていきますので、交通事情により到着時刻は前後します。家族と施設の職員で本人を確実に引き渡すことが必要ですので、家族は在宅してなければいけません。近場の施設なら9時40分迎え、15時20分帰宅ということもあります。ポイント送迎の場合と同様に、帰宅後は一人または家族と過ごすこととなります。高等部卒業後は「放課後等デイサービス」はありません。施設からの帰宅後の過ごし方も考え、家族がいても一人で過ごす(余暇)時間をつくっていきましょう。



### 卒業後、家族が支え続けられるかを検討することも必要です！

9時~15時くらいを活動時間にしている施設、10時~15(14)時を活動時間に設定している施設など様々です。自宅から施設までの距離によって送迎時刻が決まります。施設が近いと遅く迎えに来て早く帰ってくるし、遠いと早く迎えに来て遅く帰ってくることとなります。また、施設によって休業日も変わります(土日祝、土日、日月等)。「土日祝休みだと、自分の用事を足せない…」と悩むご家族もいらっしゃいます。

本人の希望する施設が最良ですが、支える家族の生活が成り立つのか、送迎をずっと続けられるのかも重要なポイントです。会社や施設に卒業はありません。“親が送迎する”なら、その生活がずっと続くこととなります。祖父母や自分たち(親)の老化を想定し、卒業後すぐにグループホーム利用を決断したご家族もいます。一人で行ける場所を広げる、留守番やショートステイに挑戦する等、小、中学部段階から少しずつ準備していくと進路選択の幅が広がります。

